

事務事業名	(仮称)加茂BSスマートIC整備事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	国県事業G		
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	坂田洋一		
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。			
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		予算科目	0:140:0:8	大事業名	国道・県道整備事業
目的対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。			中事業名	高速道路整備関連事業
				1:0:15:0:1	中事業名		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
高速道路利用者	市内IC数を増やし、高速道路利用者の利便性を高くする
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H29 年度 ~ R4 年度)	(事務事業の概要) (仮称)加茂BSスマートIC開設に向けて、関連市道、バスストップを整備する。 <input type="checkbox"/> 市道神原企業団地1号線 延長 L=550m、幅員W=9.75m
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・加茂インター線工事委託 1式 ・道路整備工事 L=375m(神原企業団地1号線) ・調整池設計業務、設置工事 ・バスストップ待合所実施設計業務、建設工事、外構・照明工事 ・標識設置工事	国土交通省、島根県、NEXCOと協議をしながら進めている。 建設コスト削減を目指して、設計に取り組んでいる。 NEXCOとは毎月担当者会議を開催し、工程調整等を行い、事業促進を図っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 市内IC数	箇所	3	3	3	4
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
【地方債】合併特例債 【R2年度繰越】 54,805千円 本工事費45,097千円 委託費9,708千円 【R3年度】 336,814千円 本工事費139,637千円 委託費184,561千円 土地購入費9,740千円 補償費371千円 負担金86千円 事務費2,419千円	財源内訳	国庫支出金	千円	55,964	151,766	165,109	205,480
		県支出金	千円				
		地方債	千円	56,500	95,300	199,500	211,400
		その他	千円	8,156	4,700	16,197	32,987
		一般財源	千円	2,972	1,481	10,813	6,752
		事業費計	千円	123,592	253,247	391,619	456,619

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	R4年度供用開始に向けて工事が順調に進捗している。一部繰越になったが供用開始までには余裕を持って完成させることができる。
② 事業実施するうえでの課題	国土交通省・NEXCOと協議しながら、建設コスト、ランニングコストを軽減できるよう検討し、協議・整備を行っている。 企業団地拡張とも残土の有効利用等連携を図り、コスト削減に努めている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	スマートIC整備促進のほか、スマートICの利用促進と活用(企業団地拡張等)に向けた取り組みも必要である。